

令和2年度

事業計画書

公益財団法人千歳市体育協会

目 次

| | |
|---|---------------|
| 1 「公益事業」 | |
| 公1 スポーツの普及振興及びスポーツの技術向上に関する事業 | |
| 公1-1 スポーツの普及振興事業 | ・・・・・・・・・・ 1 |
| 公1-2 スポーツ団体等の育成強化事業 | ・・・・・・・・・・ 4 |
| 公1-3 スポーツの普及振興のための各種教室等の開催 及び体育施設の管理運営事業 | ・・・・・・・・・・ 7 |
| 2 「収益事業」 | |
| 収1 体育施設の公益目的以外での貸与事業 | ・・・・・・・・・・ 9 |
| 3 「その他事業」 | |
| 他1 ふれあいセンター等管理運営事業 | ・・・・・・・・・・ 9 |
| 4 「法人会計」 | |
| 法人会計 法人管理運営事業 | ・・・・・・・・・・ 10 |

令和2年度事業計画

千歳市におけるスポーツの普及振興及び技術の向上のために必要な事業及び千歳市の設置する体育施設の管理運営に関する事業を行う。

I 「公益事業」

公1 スポーツの普及振興及びスポーツの技術力向上に関する事業

公1-1 スポーツの普及振興事業

定款第4条第1・5・7号に掲げる事業は次の計画により行う。

市民のスポーツ及びレクリエーション活動の普及振興を図り、心身の健全な発達と健康の増進、競技力の向上に寄与するため次の事業を行う。

(1) スポーツ教室、講習会等開催事業（定款第4条第1号）

(内容) 幼児、高齢者を含めた市民を対象とした卓球・トランポリン・弓道・体育・テニス・スケートなどのスポーツ教室、講習会などを開催し、スポーツに対する市民意識の高揚を図るとともに、市民の健康、体力の増進を図る。

令和2年度は、幼児・小学生を対象とした教室、講習会を充実させるとともに、高齢者を中心にトレーニング室を活用した講習会を新たに実施し、スポーツ愛好者の底辺拡大を図る。

・教室

※開催期間の()は開催日数

| 教室名称 | 参加対象 | 開催期間 | 定員 | 延参加者 |
|------------------------|--------------------|------------------|------------|------|
| 1 卓球 (初心者コース) | 市民(18歳以上) | R2.4.14~4.24(8) | 30名 | 240名 |
| 2 ジュニア卓球 | 小学生 | R2.11.5~11.12(5) | 30名 | 150名 |
| 3 トランポリン | 小学5・6年生 | R2.6.17~7.8(8) | 32名 | 256名 |
| 4 スポーツ体操(トランポリン等) | 小学3・4年生 | R2.9.1~9.25(8) | 32名 | 256名 |
| 5 スポーツ体操(トランポリン等) | 小学1・2年生 | R2.10.7~10.16(5) | 32名 | 160名 |
| 6 小学生のかけっこ | 小学1~2年生 小学3~6年生 | R2.5.3~5.5(3) | 30名 30名 | 180名 |
| 7 弓道 | 市民(中学生以上) | R2.6.10~7.9(10) | 16名 | 160名 |
| 8 5歳児キッズチャレンジ(年長さんコース) | 5歳児 | R2.7.30~8.5(5) | 32名 | 160名 |
| 9 4歳児キッズチャレンジ(年中さんコース) | 4歳児 | R3.3.23~3.30(5) | 32名 | 160名 |
| 10 テニス教室(初心者) | 市民(18歳以上) | R3.2.18~3.5(8) | 15名 | 120名 |
| 11 スケート(初心者) | 小学1年生 | R3.1.13~1.15(3) | 70名 | 210名 |

・講習会

| | 講習会名称 | 参加対象 | 開催日 | 定員 | 延参加者 |
|----|----------------------------------|-------------------|------------|------------|------------|
| 1 | スナッグゴルフ (兼 千歳ジュニアスポーツフェスティバル) | 小・中学生 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 2 | 3歳児親子体操 | 3歳児親子・幼 児指導担当者 | R2. 7. 18 | 20組 40名 | 40名 |
| 3 | 小学1・2年生体育 | 小学1・2年生・ 指導者 | R2. 7. 18 | 30名 | 30名 |
| 4 | 幼児体育の指導者向け講習会 | 指導者・市民 | R2. 9月下旬 | 30名 | 30名 |
| 5 | かけっこ(兼ジュニアスポーツフェスティバル) | 小学1～3年生 | 未定 | 未定 | 未定 |
| 6 | 護身術(少林寺・スポーツチャンバラ) | 市民(小学生以上) | R2. 4. 5 | 40名 | 40名 |
| 7 | バドミントン | 市民(18歳以上) | R2. 9. 19 | 20名 | 20名 |
| 8 | ミニバレー | 市民(小学生以上) | R2. 9. 19 | 20名 | 20名 |
| 9 | 卓球(シニアもパワーアップ) | 市民 | R2. 11月の平日 | 30名 | 30名 |
| 10 | 北翔大学のお兄さんと 遊んでみんな元気UP | 4・5歳児 | R2. 12. 5 | 40名 | 40名 |
| 11 | クロスカントリースキー | ①初心者 ②中級者 | R3. 1. 9 | 30名 30名 | 30名 30名 |
| 12 | 5歳児冬のスポーツチャレンジ | 5歳児 | R3. 2. 27 | 40名 | 40名 |
| 13 | 4歳児冬のスポーツチャレンジ | 4歳児 | R3. 3. 6 | 40名 | 40名 |
| 14 | 3歳児冬のスポーツチャレンジ | 3歳児 | R3. 3. 13 | 40名 | 40名 |
| 15 | トレーニング室で 体幹強化チャレンジ | 初心者男性 | R2. 4. 27 | 15名 | 15名 |
| 16 | トレーニング室で ダイエットチャレンジ | 初心者女性 | R2. 6. 22 | 15名 | 15名 |
| 17 | トレーニング室で 体幹強化チャレンジ | 初心者市民 | R2. 5. 11 | 15名 | 15名 |
| 18 | 加盟団体系験講習会 (3団体程度を予定) | 市民 | 未定 | 未定 | 未定 |

(2) スポーツ大会等の開催支援事業(定款第4条第1号)

(内容) 実行委員会等が開催するスポーツ大会の開催を支援する。

①「千歳 JAL 国際マラソン」

国内外から 1 万人を超えるアスリートが参加する、緑のトンネルを駆け抜ける北海道を代表するマラソン大会。

②「ちとせホルメンコーレンマーチ（千歳クロスカントリースキー大会）」

駐日ノルウェー王国大使をお迎えし開催するクロスカントリースキー大会。

③「千歳ジュニアスポーツフェスティバル」

プロ選手やトップアスリートが小中学生を対象に指導するスポーツ体験教室。

※ いずれの大会等も実行委員会が主管し、実行委員会に対し経費の一部を助成し支援を行う。（なお、実行委員会の事務局は、当法人が担当）

| | 団体名 | 大会名 | 参加対象 | 予定人員 |
|---|------------------------|----------------------|-------|--------|
| 1 | 千歳 JAL 国際マラソン実行委員会 | 第 40 回千歳 JAL 国際マラソン | 小学生以上 | 12,000 |
| 2 | ちとせホルメンコーレンマーチ実行委員会 | 第 45 回ちとせホルメンコーレンマーチ | 小学生以上 | 400 |
| 3 | 千歳ジュニアスポーツフェスティバル実行委員会 | 千歳ジュニアスポーツフェスティバル | 小・中学生 | 1,000 |

④「体育の日記念事業」

体育の日に因んでスポーツの普及振興・技術力の向上、親睦、交流等を目的に、各スポーツ競技団体（加盟競技団体）が開催する各種大会等に対し支援をし、「市民皆スポーツ」の推進、スポーツの普及振興を図る。

(3) スポーツ功労者等表彰事業(定款第 4 条第 5 号)

(内容) スポーツの普及振興に貢献された個人・団体及び全道・全国及び国際大会等で優秀な成績を収めた個人・団体に対し、その栄誉を讃えて当法人の表彰規程に基づき表彰する。

(4) スポーツ情報提供事業(定款第 4 条第 7 号)

(内容) 当法人のホームページ、市の広報誌及び民間の情報誌等でスポーツ大会や教室等の情報を提供し、スポーツの普及振興を図る。

公1-2 スポーツ団体等の育成強化事業

定款第4条第2・3・4号に掲げる事業は次の計画により行う。

(1) スポーツ指導者養成講習会事業（定款第4条第3号）

（内容）市民がスポーツを通じて健康で豊かなライフスタイルを築くことができるようスポーツ活動を支援する指導者等を養成するため、専門的な知識、技能などを実践的に学ぶ講習会を実施する。

「幼児体育指導者講習会」

(2) スポーツ少年団育成強化事業（定款第4条第4号）

（内容）スポーツを通じて将来を担う子供達の体と心を育てる運動を推進するため、スポーツ交流会やジュニアリーダーズスクールを開催し、スポーツ少年団の普及と育成強化を図りスポーツの底辺拡大を図るとともに、地域社会に有為な人材を輩出することによる地域貢献を行う。

| | 事業名 | 参加対象 | 開催期間 | 参加人数 | 延参加者 |
|---|-----------------|---------|----------|------|------|
| 1 | 研修会・少年団養成講習会 | 指導者 | 都度 | 未定 | 未定 |
| 2 | スポーツ大会交流事業 | スポーツ少年団 | R2.8 上旬 | 未定 | 未定 |
| 3 | ジュニアリーダーズスクール事業 | スポーツ少年団 | R2.12 下旬 | 未定 | 未定 |

(3) 加盟団体育成強化事業（定款第4条第3号）

（内容）加盟団体の育成強化を図る。

① 「千歳市開催の全国・全道大会」

各スポーツ加盟団体が実施する各種スポーツ大会及び加盟団体が主管等となり千歳市において開催する全道、全国大会の運営に対し、その経費の一部を助成し支援等を行う。

| | 団体名 | | 大会名 | 開催場所 | 参加人数 |
|---|----------|---|--------------------|----------------|------|
| 1 | 千歳剣道連盟 | 1 | 第21回北海道中学校新人剣道大会 | 千歳市開基記念総合武道館 | 400名 |
| 2 | 千歳軟式野球連盟 | 2 | 第37回全日本少年軟式野球北海道大会 | 市民球場、青葉球場、若草球場 | 600名 |
| | | 3 | 第5回全日本生涯還暦野球大会 | 市民球場、青葉球場 | 300名 |

| | | | | | |
|---|----------------|----|---|-----------------|-------|
| 3 | 千歳柔道連盟 | 4 | 第52回北海道ジュニア柔道体重別選手権大会 兼第23回女子北海道ジュニア柔道体重別選手権大会 | 千歳市開基記念総合武道館 | 300名 |
| | | 5 | 第75回国民体育大会柔道競技北海道予選 | 〃 | 600名 |
| | | 6 | 第25回田中信孝杯争奪全国ハイパービート協会少年少女柔道大会 | 〃 | 600名 |
| | | 7 | 2020年度北海道学生柔道体重別選手権大会兼北海道学生柔道大衆別団体優勝大会 | 〃 | 600名 |
| | | 8 | 2020年度北海道学生柔道新人大会兼北海道学生女子柔道階級別選手権大会 | 〃 | 600名 |
| | | 9 | 令和3年度北海道柔道選手権大会 | 〃 | 300名 |
| | | 10 | 第43回北海道少年柔道優勝大会 | 〃 | 800名 |
| 4 | 千歳ソフトテニス連盟 | 11 | 令和2年度第75回国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会兼北海道体育大会(成年の部ダブルス) | 青葉テニスコート | 100名 |
| | | 12 | 令和2年度第75回国民体育大会ソフトテニス競技北海道ブロック予選会兼北海道体育大会(成年の部シングル) | 〃 | 100名 |
| | | 13 | 第35回北海道オールタイムソフトテニス選手権大会 | 〃 | 200名 |
| 5 | 千歳バスケボール協会 | 14 | 第46回北海道ミニバスケットボール大会兼第52回全国ミニバスケットボール大会北海道予選 | 千歳市スポーツセンター | 1000名 |
| 6 | 千歳ラグビーフットボール連盟 | 15 | 第50回北海道ラグビーフットボール選手権大会(千歳会場) | 青葉ラグビー場 | 500名 |
| | | 16 | 第20回北海道Over35ラグビー大会2020 | 〃 | 350名 |
| | | 17 | KIRIN BEER CUP 北海道雪中ラグビーフェスタ2021 | 麒麟麦酒千歳工場特設会場 | 400名 |
| 7 | 千歳テニス協会 | 18 | 第49回北海道毎日テニス選手権大会 | 青葉テニスコート他 | 300名 |
| | | 19 | 第75回国民体育大会テニス競技千歳(石狩・南空知)地区予選大会 | 〃 | 150名 |
| 8 | 千歳サッカー協会 | 20 | 第54回全国自衛隊サッカー大会北海道予選大会 | 青葉サッカー場 | 280名 |
| | | 21 | 令和2年度北海道中学校体育大会 第59回北海道中学校サッカー大会 | 青葉サッカー場、臨空サッカー場 | 360名 |

| | | | | | |
|----|---------------------------|----|---|--------------|-------|
| 9 | 千歳空手道連盟 | 22 | 第 63 回全国空手道選手権大会予選兼第 58 回北海道空手道選手権大会 | 千歳市開基記念総合武道館 | 400 名 |
| | | 23 | 第 11 回北海道新聞杯北海道空手道選手権大会 | 〃 | 400 名 |
| | | 24 | 第 4 回北海道空手道連盟松濤館北海道大会 | 千歳市スポーツセンター | 500 名 |
| | | 25 | 第 5 回空手之道世界連盟北海道大会 | 千歳市開基記念総合武道館 | 300 名 |
| | | 26 | 第 54 回和道流空手道連盟北海道大会 | 〃 | 300 名 |
| | | 27 | 第 4 回北海道スポーツ少年団空手道交流大会 | 千歳市スポーツセンター | 200 名 |
| | | 28 | 第 13 回読売新聞杯北海道空手道選手権大会 | 千歳市開基記念総合武道館 | 400 名 |
| 10 | 千歳バドミントン協会 | 29 | 第 64 回北海道社会人バドミントン選手権大会兼第 63 回全日本社会人バドミントン選手権大会予選 | 千歳市開基記念総合武道館 | 200 名 |
| | | 30 | 第 12 回北海道シニアバドミントン選手権大会兼第 36 回全日本シニアバドミントン選手権大会予選 | | |
| | | 31 | 第 47 回全道自衛隊バドミントン選手権大会 | 〃 | 300 名 |
| 11 | 千歳合気会 | 32 | 北海道合気道連盟錬成大会 | 〃 | 200 名 |
| 12 | 千歳ボウリング協会 | 33 | (公財)全日本ボウリング協会 第 75 回国民体育大会北海道選考会 | 千歳フジホール | 30 名 |
| | | 34 | 全国実業団ボウリング連盟第 36 回 ABBF 北海道ブロンズ選手権大会 | 〃 | 70 名 |
| | | 35 | (公財)全日本ボウリング協会 第 57 回東日本選手権大会 | 〃 | 180 名 |
| | | 36 | 第 47 回全道市役所ボウリング大会 | 〃 | 100 名 |
| | | 37 | 日本ボウラス連盟 第 47 回 NBF 北海道シングルズ選手権大会 | 〃 | 170 名 |
| | | 38 | 日本ボウラス連盟 第 12 回 NBF 北海道支部 マスターズボウリングフェスティバル | 〃 | 180 名 |
| 13 | 日本スポーツウェルネス吹矢 千歳やませみ協会 | 39 | 第 4 回北海道スポーツウェルネス吹矢ハマナス杯大会 | 千歳市開基記念総合武道館 | 70 名 |

②「加盟団体育成強化事業」

加盟団体の活動費の一部を助成することにより、加盟団体の育成強化並びに競技力の向上を図る。

③「千歳・新潟スポーツ交流事業」

千歳市と新潟市の交流事業として、両市で交互に軟式野球大会を開催し、スポーツを通じての交流を図る。令和2年度は千歳市で開催。

④「石狩管内スポーツフェスタ」

平成19年度から石狩管内体育協会連絡協議会の独自事業として実施している。スポーツレクリエーション活動を通じて、管内規模での世代間交流や地域社会の活性化を促進させる。令和2年度は、当別町、新篠津村で開催。

(4) スポーツ大会の参加支援事業（定款第4条第2号）

(内容) 全国的・国際的大会等に参加する個人、団体の選手、指導者に対し、参加費用の一部を助成し支援を行い、スポーツの普及振興、競技力の向上を図る。

公1-3 スポーツの普及振興のための各種教室等の開催及び体育施設の管理運営事業

定款第4条第1・6号に掲げる事業は次の計画により行う。

(1) 自主事業の実施（定款第4条第1・6号）

(内容) 指定管理者として千歳市スポーツセンター、千歳市開基記念総合武道館で次の事業を実施する。

① 千歳市スポーツセンター

- ・ トランポリン、卓球などのスポーツ教室や親子体操、指導者向け講習会などの開催支援、トレーニング室利用者を対象とした「トレーニングアドバイス事業」等を実施する。
- ・ 利用者サービスの向上を図るため、公衆無線 LAN(Wi-fi)の無料サービス、「ポイントカード」による利用料の還元を行う。
- ・ 優しく利用しやすい施設環境づくりとして、更衣室やトイレにドライヤーや擬音装置を設置し、シャワー室とコインロッカーの一部を無料開放とする。
- ・ 休館日の弾力的運用として、年末年始休館期間を短縮(12月28日午後3時までと1月4日を開館)するとともに、毎月1回の整備日と年末年始休館以外は年中無休とする。

- ・利用時間の弾力的運用として、清掃や器具の入れ替えに必要な時間を除いては、一般利用者の午前・午後・夜間区分の入替制を継続利用扱いとする。
- ・施設で利用する用具のほか、ノルディックウォーキング用ポール、敷地内パークゴルフコース用のクラブとボール、青葉公園内歩くスキーコース利用者へのスキー用具の貸し出しを行うとともに、施設、用具等の使用に係る指導助言を行う。
- ・「市民の健康増進、スポーツの振興目的活動」を促進させるため、体育の日を含めて年間延べ3日間を施設の無料開放日として設定する。
- ・スポーツ合宿受け入れに伴う一般利用との調整を行う。

② 千歳市開基記念総合武道館

- ・弓道、護身術などの教室・講習会等の開催支援や、トレーニング室利用者を対象とした「トレーニングアドバイス事業」を実施する。
- ・初心者一人でも気軽に楽しめる「卓球サポート事業」を実施する。
- ・利用者サービスの向上を図るため、公衆無線 LAN(Wi-fi)の無料サービス、「ポイントカード」による利用料の還元を行う。
- ・優しく利用しやすい施設環境づくりとして、更衣室やトイレにドライヤーや擬音装置などを設置し、コインロッカーの一部を無料開放とする。
- ・休館日の弾力的運用として、年末年始休館期間を短縮(12月28日午後3時までと1月4日を開館)するとともに、毎月1回の整備日と年末年始休館以外は年中無休とする。
- ・利用時間の弾力的運用として、清掃や器具の入れ替えに必要な時間を除いては、一般利用者の午前・午後・夜間区分の入替制を継続利用扱いとする。
- ・施設で利用する用具のほか、敷地内コースで使用するスナックゴルフのクラブとボールの貸出しを行うとともに、施設、用具等の使用に係る指導助言を行う。
- ・「市民の健康増進、スポーツの振興目的活動」を促進させるため、体育の日を含めて年間延べ3日間を施設の無料開放日として設定する。
- ・スポーツ合宿受け入れに伴う一般利用との調整を行う。

(2) 業務委託（定款第4条第6号）

各施設の維持管理に係る清掃、警備、設備に関する業務委託の他、エレベーターの保守業務、自動扉保守業務、消防設備保守業務等の委託業務により適正な管理に努める。

※「公益目的事業の確立」

公 1-1・1-2・1-3 事業では、心身の健全な発達と健康の増進、競技力の向上に寄与することを目的に市民皆スポーツの視点にたち、千歳市との連携のもと、体育施設を最大限活用し、多岐にわたるスポーツ参加機会の提供や指導者の育成と活用、スポーツ教室、講習会等の開催、並びに各種スポーツ大会への支援、スポーツに功績のあった方々を讃える表彰事業を行い、市民のスポーツ及びレクリエーション活動の普及振興を図る事としている。

このことから、「教育、スポーツ等を通じて国民の心身の健全な発達に寄与し、又は豊かな人間性を涵養するための公益目的事業」に合致している。

II 「収益事業」

収 1 体育施設の公益目的以外での貸与事業

定款第 4 条第 6 号に掲げる事業は次の計画により行う。

(内容) 指定管理者として、誰もが利用できる施設であることから、各種団体等が体育施設を公益目的事業以外の目的で利用する事業に対し当該施設を提供し、支援・協力を行う。

- 千歳市スポーツセンター
- 千歳市開基記念総合武道館
- (一例として)・市職員採用試験
 - ・事務機器展示会
 - ・企業内研修
 - ・選挙開票

III 「その他事業」

他 1 ふれあいセンター・屋外体育施設管理運営事業

定款第 4 条第 1・3・4・6 号に掲げる事業は次の計画により行う。

(内容) 指定管理者としてふれあいセンター、屋外体育施設(24 施設)において、スポーツ及びレクリエーション活動の普及・振興、技術力の向上及び市民の健康や体力の増進を図ることを目的とする市民、スポーツ団体等に当該施設を提供しサービスの向上を図る。

- ① ふれあいセンター

- ・利用者サービスの向上を図るため、公衆無線 LAN(Wi-fi)の無料サービスを行う。
- ・休館日の弾力的運用として、年末年始休館期間を短縮(12月28日午後3時までと1月4日を開館)するとともに、毎月1回の整備日と年末年始休館以外は年中無休とする。
- ・「市民の健康増進、スポーツの振興目的活動」を促進させるため、体育の日を含めて年間延べ3日間を施設の無料開放日として設定する。

② 屋外体育施設(24施設)

- ・屋外体育施設の利用申し込みを、平日は体育協会事務局と青葉公園内のクラブハウス、休日は同クラブハウスで受け付けることとし、いつでも利用申し込みができる環境を整える。
- ・利用者サービスの向上を図るため、「ポイントカード」による利用料の還元、青葉公園内のクラブハウス、市民球場、青葉陸上競技場において公衆無線 LAN(Wi-fi)の無料サービスを行う。
- ・開設期間の弾力的運用として、青葉公園・向陽台公園・つばさ公園の各庭球場と青葉陸上競技場において、10月末開放終了後も一般利用に限り降雪時までは、日没まで開放を延長する。
- ・開場時間の弾力的運用として、青葉陸上競技場と市民球場・青葉球場等の野球場の開場時間を、夏期間の5月上旬～8月下旬までの期間、利用終了時間の「午後6時」を「午後7時」まで延長する。
- ・「市民の健康増進、スポーツの振興目的活動」を促進させるため、体育の日を含めて年間延べ2日間を施設の無料開放日として設定する。
- ・青空公園スケート場において、「保護者向けスケートアドバイス事業」を実施する。
- ・スポーツ合宿受け入れに伴う一般利用との調整を行う。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に係る事前合宿の要請があった場合、全ての体育施設と調整を行い全面的に協力する。

IV 「法人会計」

法人会計 法人管理運営事業

「法人の管理運営に要する経費」

V 「各種会議開催」

法人運営に係る会議、石狩管内体育協会連絡協議会会議、スポーツ少年団会議の開催状況を報告する。

VI 「法人の概況」

法人の概況を報告する。
